



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 3月号

平成19年 3月17日(土) ~ 5月6日(日)

●月曜日休館(4月30日は開館) ●開館時間: 午前9時~午後5時
●入館料無料



にのみや そんとく
二宮尊徳



ふくずみ まさえ
福住正兄

—二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法—

幕末の村おこし



おおさわ こうさい
大澤小才太

薪を背負い読書する金次郎像で有名な二宮尊徳ですが、今年は二宮尊徳が生誕して220年目にあたります。彼は江戸時代後期から幕末にかけて、数多くの荒廃した村の復興や領主財政の改革—報徳仕法を手がけました。仕法とは方法、手段といった意味であり、報徳仕法とは二宮尊徳が自己の体験に基づいてはじめた農村復興・財政再建改革の方法、事業を指します。

本特別展は二宮尊徳の指導を受け、市内の片岡を中心に実施された報徳仕法を地域の人々による「村おこし」という視点から紹介します。片岡村の報徳仕法—片岡村仕法の特徴は、領主の財政改革の一環としてではなく、片岡村の名主大澤市左衛門・小才太父子を中心に民間の手でおこなわれたところにあります。そして、片岡村一村を超え、真田村・南金目村・伊勢原村・湯本村などに広がっていきました。さらに、克讓社という結社をつくり、地域の安定・復興をめざしたネットワークを形成しました。また、二宮尊徳に師事し、箱根湯本で地域の近代化を進めた福住正兄も片岡村の出身です。

本特別展を通して、地域の人々が地域の問題をどのように克服しようとしたのか、現代の市民社会における地域づくりを考える手がかりとしていただければ幸いです。

平成 19 年度年間会員募集

博物館では、来年度の年間会員を募集しています。気になる会があったら、ぜひ一度お問い合わせください！参加希望の方は、往復ハガキに住所・氏名・電話番号と参加希望会名を記入し、4月6日（金）必着で博物館までお申し込み下さい。応募者多数の場合は抽選とします。（ ）内募集人数。

<会員募集のサークルと詳細>

☆展示解説ボランティアの会（10名） 展示を解説したり、来館者の質問に答えたりします。

日時：定例会 - 第1・3木曜日 9時30分～12時 当番日 - 週1回 10時～16時（曜日・時間は要相談）

☆天体観察会（30名） 流星群や月食の観察、天体写真の撮影などを行います。

日時：年間20回、主に土曜日 15時～20時

対象：中学生以上。ただし、18歳未満の方は保護者氏名記入で応募。

☆星まつりを調べる会（20名） 月や星に関係のある歴史遺物・民俗を調べる会です。

日時：毎月1回、主に土曜日 15時～17時

対象：中学生以上

☆相模川の生い立ちを探る会（20名） 丹沢山地など相模川流域及び周辺各地を歩きながら、地形や地質を観察します。今年度は「衝突境界を歩く」をテーマにします。

日時：毎月1回、土または日曜日 9時～17時

☆漂着物を拾う会（30名） 虹ヶ浜海岸に打ち上げられた漂着物の観察を通して、海の自然や環境について考えます。

日時：毎月第2土曜日 9時30分～11時

☆「水辺の楽校」生きもの調べの会（30名） 平塚市馬入の相模川に設定された「馬入水辺の楽校」エリアをフィールドに自然観察を行います。

日時：毎月1回、日曜日 9時30分～12時

☆平塚の古代を学ぶ会（30名） 今年度は「相模国府」をテーマに古代の歴史を学びます。

日時：毎月1回、日曜日 10時～12時

☆古代生活実験室（30名） 古代人の技術を学び、実践します。土器作り、石器作り、織物作りなど。

日時：毎月1回、日曜日 13時～16時

☆石仏を調べる会（10名） お地藏さんや道祖神の形や文字を調べ、目録集『平塚の石仏・改訂版』を発行します。19年度は旭地区の石造物を調べます。

日時：毎月第2・4木曜日 10時～16時

☆民俗探訪会（20名） 地域の年中行事や暮らしの伝承を調べ学びます。

日時：毎月第3水曜日 13時30分～16時

☆博物館太鼓連（30名）◎新規行事◎ 講義とVTRで祭囃子を学び、実際に太鼓を叩いて祭囃子を演奏します。

日時：毎月1回土曜日 16時～19時と、月1回平日の17時～19時

☆平塚の空襲と戦災を記録する会（定員10名） 平塚の空襲と戦災の聞き取り調査等を行います。

日時：毎月第4土曜日 13時30分～4時30分

☆地域史研究ゼミ（10名） グループ研究（ゼミ方式）での史料講読を通して、郷土史研究の方法を学習します。

日時：毎月第4土曜日 10時～12時

対象：ある程度古文書を読むことができる方。

「いつか、そらまで」

雑貨団
フラネタリウム
公演

あらすじ：21世紀中ごろ、宇宙飛行士上野の初フライト。あこがれの宇宙へ。しかし、トラブルが発生。地上から妹を見守る、宇宙船技師。窮地に立たされた乗務員と兄妹。ふたりの絆と宇宙への思いを中心に、宇宙を目指す人々の心を描く物語。

日時：3月30日（金）(1)14時～ (2)19時～ 観覧料：無料

申込：3月1日（木）より電話にて受付。

※演劇のため、幼児同伴の観覧はご遠慮ください。

定員：各回50名（小学生以上、先着順）

春期特別展関連行事

- ＜記念講演会＞ 第1回：「片岡村が生んだ福住正兄を見直す」
講師：金原左門氏（中央大学名誉教授・平塚市史編さん協議会委員）
日時：2007年3月25日（日）14時～15時30分
- 第2回：「片岡村・克讓社の報徳仕法―大澤兄弟のネットワーク」
講師：早田旅人（平塚市博物館学芸員）
日時：2007年4月1日（日）14時～15時30分
- 第3回：「二宮尊徳の仕事と生涯」
講師：早田旅人（平塚市博物館学芸員）
日時：2007年4月15日（日）14時～15時30分
- ※各回とも会場は平塚市博物館講堂 先着80名（13時30分開場）

＜史跡探訪会＞

「二宮尊徳の生まれ育った栢山村を歩く」
二宮尊徳の生地である栢山に残る尊徳関連史跡と尊徳生家・尊徳記念館を見学します。
日時：2007年4月21日（土）13時～16時
定員：30名（往復はがきで申込み、応募多数の場合は抽選）

＜特別展展示解説＞

担当学芸員による解説があります。
3月18日（日）：13時30分～14時30分
4月1日（日）：10時～11時
4月7日（土）：13時30分～14時30分
4月15日（日）：10時～11時

屋外展示の神代杉がリニューアル！

博物館駐車場前にある「箱根の神代杉」は、設置から27年を経て、傷みがひどくなったので、このたび、樹脂を注入して強化し、頂部をFRP（強化プラスチック）で埋めて、雨水が浸透しないようにして、保存処理を行いました。

この神代杉は、昭和54（1979）年に箱根町仙石原終末処理場の建設にあたり、敷地内からおびたしい神代杉が産出したのを機に、同年11月、その1つを神奈川県西湘下水道整備事務所より譲り受けたものです。展示している神代杉は、実際にはヒノキで、樹齢700年あります。この神代杉は、箱根の寄木細工（箱根細工）の一部に、現在でも使われています。

この神代杉を多量に産出した地層は、神山山崩れ堆積物といい、約3100年前、神山が大崩壊をおこし、かつてあった仙石原湖を埋めた堆積物です。この山崩れにより早川を堰き止めて、芦ノ湖が出現しました。仙石原の湿原はその名残りとどめるものです。芦ノ湖の逆さ杉は、こうした山崩れにより山腹に生育していた杉が芦ノ湖湖底に運ばれたものです。古期外輪山の丸岳付近から仙石原を眺めると、神山が崩壊してできた扇状地地形がよくわかります。現在も噴気活動をしている大涌谷横にある冠ヶ岳は、この神山の山体崩壊にさきだって、約2900年前にマグマが貫入し、火道が残されたものです。

こうした点からも、展示している神代杉は、芦ノ湖の生い立ちを物語るとともに、縄文時代の気候を年輪として刻んでいる、大変貴重な資料といえます。



写真：上) 1979年の神代杉の運搬。
右) 神代杉修復作業の様子。
下) 新しい神代杉の展示。



1 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
2 金	古文書講読会	講堂
3 土	星まつりを調べる会	特研究室
	○ 館長の自然講座	講堂
	☆ 3月の星空ナビ	プラネ
4 日	○ 水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
8 木	石仏を調べる会	特研究室
9 金	古文書講読会	講堂
10 土	天体観察会	野外
	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
11 日	天体観察会	野外
	平塚の古代を学ぶ会	特研究室
	地質調査会	科学室
15 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
16 金	古文書講読会	講堂
17 土	☆ 春期特別展「幕末の村おこし-二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法-」 ～5月6日まで	特展室
	古代生活実験室	科学室
	地質調査会	屋外
18 日	◎ ろばたばなし	民家
	◎ 特別展展示解説	特展室
21 水	裏打ちの会	科学室
22 木	石仏を調べる会	特研究室
23 金	古文書講読会	講堂
	◎ 星を見る会	屋上
24 土	平塚の空襲と戦災を記録する会	講堂
	地域史研究ゼミ	講堂
25 日	◎ 特別展記念講演会	講堂
	相模川の生い立ちを探る会	三浦市
30 金	○ 雑貨団公演「いつか空まで」	プラネ

1 日	◎ 特別展記念講演会	講堂
	◎ 特別展展示解説	特展室
5 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
4 水	☆ 寄贈品コーナー「新資料紹介」	寄贈品
6 金	古文書講読会	講堂
7 土	○ 館長の自然講座(最終回)	講堂
	☆ 4月の星空ナビ	プラネ
	◎ 特別展展示解説	特展室
8 日	地質調査会	特研究室
	平塚の古代を学ぶ会	講堂
	古代生活実験室	科学室
12 木	石仏を調べる会	特研究室
13 金	古文書講読会	講堂
14 土	☆ プラネタリウム「ほうき星に乗って」 ～5月17日	プラネ
	地質調査会	野外
	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
15 日	○ 水辺の楽校生きもの調べの会	野外
	◎ ろばたばなし	民家
	◎ 特別展記念講演会	講堂
	◎ 特別展展示解説	特展室
18 水	民俗探訪会	講堂
19 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
20 金	古文書講読会	講堂
21 土	○ ツバメ調べ(ガイダンス)	講堂
	博物館太鼓連	講堂
	○ 史跡探訪会「二宮尊徳の生まれ育った栢山村を歩く」	野外
	天体観察会	屋上
22 日	相模川の生い立ちを探る会	野外
26 木	石仏を調べる会	野外
27 金	古文書講読会	講堂
28 土	地域史研究ゼミ	特研究室
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
	星まつりを調べる会	講堂

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「虹とそのなかま」

昨年12月3日朝、市内で目撃された虹の写真と、珍しい虹、虹に似た現象を紹介します。

日時：～4月1日(日)

☆ミニ文化祭「田んぼが育む生命」

東海大学の研究室による展示です。

日時：～3月15日(木)

☆プラネタリウム

◎プラネタリウム「隣の星へ」

日時：～4月8日(日)の土日の午前11時と午後2時(3月3日、4月7日の午後2時の回をのぞく)

観覧料：100円(中学生以下無料)

◎3月の星空ナビ

3月の天文現象の解説をします。

投影日：3月3日(土)午後2時の回

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：3月10日(土)午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由(初めてのの方は往復はがきで申し込むこと)

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：3月18日(日)(1)13時20分～(2)15時～

場所：展示室民家

参加：自由

◎星を見る会「月と土星を見よう」

望遠鏡でクレーターや土星の環を眺めます。

日時：3月23日(金)19時～20時30分

場所：博物館屋上

参加：自由